

令和7年度 学校だより

つなぐ

翠輝学園 つくば市立 みどりの南小学校 第31号 発行日 R7.10.10

令和7年度 学校教育に関するアンケート(保護者)自由記述より

前号では、保護者アンケートの結果について、昨年度の結果と比較しながらご報告しましたが、「ご意見、ご感想等」もいただいております。貴重なご意見ですので、教職員にも周知するとともに、検討してまいります。ありがとうございました。

これらについては、回答も含め、何回かに分けて報告いたします。なお、内容については簡潔にまとめさせていただきました。今後、少しずつ回答させていただく予定です。



【ご意見・ご感想について】

◆学校の取組への感謝について

多くの保護者の皆様から感謝のお言葉を頂戴しました。本当にありがたく、教職員の励みになります。この場を借りて御礼申し上げます。今後も努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

◆授業についていけないこと・教員のフォローが十分でないことについて

子供たちが毎日、学校で多くの時間を過ごすのは「授業」です。その授業についていけないことは、その子にとって辛いことです。本校の教職員はグランドデザインの目指す児童の姿③『「できた、わかった、もっとやってみたい」と思える』に向け、児童が一人残らず、その姿に近づけるよう努めています。しかしながら、授業についていけない子供たちへのフォローは十分とは言えない面もあります。

そこで、学校では「授業改善」に取り組んでいます。学校教育の中で、安心・安全の次に重要なことだと考えています。そこで、開校2年目の今年度は「授業づくり」に重点を置き、様々な施策を進めています。以下にその一部をご報告します。(今後、少しずつお知らせしていきます)

授業についていけない場合、どのようにフォローしていくか(1)

授業改善に向けて

現在「授業改善」のための方策の一つとして、子供たちの「**学力の基盤調査**(たつじんテスト)」の実施に向けて準備を進めています。この調査は、いわゆる学力テスト(全国学力テスト、県学力診断テスト)では分からない、「子供のつまずきがどこにあるのか」、つまり子供の理解の仕方やつまずきの原因を見取るための調査(テスト)です。以下は、他県の児童に対して行った、問題とそのつまずきの例です。(※)

【調査問題】子どもが 14 人、 1 れつにならんでいます。ことねさんの前に 7 人います。ことねさん の後ろには何人いますか。

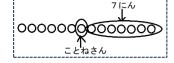
(※解答用紙には「式」と「図」を書くスペースと、「答え」を書くスペースがあります)

【つまずき】 (一部抜粋)

①問題の意味が理解できない。 (式: $1.4 \times 7 = 9.8$ 答え:9.8人 図なし) \odot 計算はできていますが…

②図は描けるが、式が書けない。(式:14-7= 7 答え: 7人 図 過去の調査の学年別正答率は、3年生が28.4%、4年生が53.4%、5年が72.3%で、かなりの子が間違いました。

大切なのは、「できなかった」で終わるのでなく、「なぜ分からないのか」を分析することです。誤答例を分析すると、様々なつまずきがあること



が分かります。**すべてのつまずきには理由がある**ので、子供がどんなつまずきをしているのかを分析することで、そのためにどんな指導や支援をしていけばよいかを考え、日々の授業に活かすことが必要です。

現在、この調査を開発した**慶應大学の今井むつみ**先生と打合せをさせていただき、授業に**ついていけない子へのフォローに役立てるため**に準備を進めています。なお、この調査は有料のため、教育支援費より支出させていただく予定です。(※調査問題とつまずきは、今井先生の資料より)